



東部地域の人物・事績を訪ねて－3

日本一の明田富士とその周辺

東通地区連合町内会

会長 加藤 長二郎

世界遺産である富士山は美しさと高さ（3776m）を誇る日本一の山です。全国には富士山と名付けられた山が300余あるそうです。

秋田駅東口より南に生い茂る緑に包まれた小高い山が標高35mの明田富士です。

平成63年、ご本家富士山麓の静岡県富士市商工会議所より明田富士山（ミヨウデンフジヤマ）が日本一低いという認定を受け、翌年日本山岳会秋田支部が頂上に標柱を建てました。

明田富士山は東通明田を流れる太平川沿いに位置し、川沿いに登山口があります。急坂を5分程登れば約500m²の台地が頂上です。北側に大きな櫻がひとつ高くそびえ側には富士大権現と彫れた石碑が立っています。

頂上からは東通地区はもちろん奥羽本線、羽越線を走る電車、そして駅周辺から市内遠くまで見渡せる素晴らしい眺望となっています。

私が子供の頃は、山でチャンバラごっこ、栗拾い、虫とり等をしたりよく遊んだものでした。頂上はきれいな芝生で覆われてみんなで寝ころんで空を仰ぎ、下を流れる太平川で泳ぎ、冬はあちこちの斜面でそり滑り等々、四季を通して子供たちの広大な遊び場でした。

古地図や資料を見ると、この地には佐竹入部以前に富士太郎という豪族の居館があったと伝えられています。富士はその名残りで権現は守り神と見られます。



他に大行院、白山神社、薬師、麻利支天などがあり古くから信仰の対象であったようです。

この明田富士山は、ご本家富士山みたいに美しい形でなく今日では木々が生い茂って形がわからない状態になっています。西側斜面は藩政期頃から削り取られ、沼地湿地帯だった手形堀反、南通築地、今の秋田駅周辺などに埋め立てをしたり、農家の人たちが田んぼの客土に使ったそうです。

長い年月に渡って土取場として山が削られ、昔の4分の1位になったと言われています。

ふもと周辺には、現存する磯前神社（イソザキジンジャ）、馬頭観音堂（明田神社）、稻荷神社、札所、庚申塚、明田墓地などがあります。

磯前神社は漁労の神を祀っています。かつては新屋の漁師たちが豊漁を祈願したといいます。明田墓地は江戸時代の権山武士の墓が多い、神社参道に沿って様々な石塚が並んでいます。一番多いのが七庚神、ほかに唐松大神、二十三夜などの石塔があちこちにあり往時の賑わいが偲ばれます。

地域の財産としてこれらの環境整備に努め、みんなの鎮守の森として後世に残していきたいと思っております。

尚、現在、太平川河川改修に伴い一つ森公園に通じる才八橋の架け替え工事が行われ（仮橋設置）、令和4年完成予定となっています。



～秋田市地域づくり交付金事業の紹介～

千秋の丘

人生100年時代を迎え、健康で過ごせたらと「いきいき・かみかみ百歳体操」を週一回CDによる教室を楽しみながら開催しています。

この体操はイスに座りながら頭、手、足、腰と全身の運動、さらにお口の体操と高齢者に優しい体操です。



いきいき・かみかみ百歳体操

松崎団地町内会

又講師がいなくてもできることです。

毎回一人暮らしの方、シルバーの方々の参加者が増えて町内の交流の場でもあり、地域の活性化につながっております。



町内会創立50周年記念事業

横森四丁目町内会は、昭和45年一面田んぼだったところが宅地造成され、新たに誕生した町内です。

50周年を迎える記念事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、式典、祝賀会は中止



横森四丁目音頭を踊りました

横森四丁目町内会

せざるを得ませんでしたが、これまでの活動を取りまとめた記念誌を作成しました。写真は、記念誌を飾る横森四丁目音頭を踊る皆さんです。



記念誌の表紙デザイン

四半世紀を超えた東通町内会の夏祭り

四半世紀を超える手づくりイベントには毎年地元住民はもとより近隣町内からも大勢来て下さいます。スイカ割りや盆踊りのほか、城東中吹奏楽部、秋大竿燈



城東中吹奏楽部の若さあふれる演奏

東通町内会

会の出前出演など多彩なプログラムです。残念ながら令和2年は新型コロナの影響で中止になりましたが、アフターコロナでの再開がまちどおしい限りです。



子どもに大人気のスイカ割り大会

ニュースポーツの普及と健康づくり交流事業

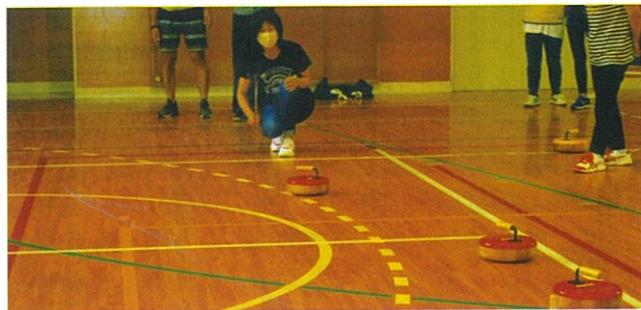
広面地区体育協会

「秋田市地域づくり交付金」を活用して、フロアカーリングの用具を確保する事ができました。それにより、今年度は、地区運動会やスポーツ教室において、フロアカーリング大会を実施いたしました。初めて体験し



フロアカーリング大会の風景

たという小学生から90代の方まで幅広い年代で楽しく交流する事ができました。今後も地区住民の健康づくり交流事業に活用して参ります。



東地区市民憲章推進協議会

東地区市民憲章推進協議会では『秋田市地域づくり交付金』を活用して、東小学校見守り隊の活動用に令和元年ジャケット・帽子・横断中旗を準備いたしまし



東小学校見守り隊の活動

た。また、令和2年には「こどもひなんじょシール」を作成し。子どもたちの、通学路の交通安全や防犯対策に有用させていただいております。



境田町内クリーンアップ事業

境田町内会

町内の清掃活動への参加を促し、衛生環境の維持と町内の交流を図ることを目的とした事業です。高齢者の方でも参加しやすいように清掃機器（ブロワー）や清掃道具（レーキ・ちり取り）を整備し、清掃作業の



ブロワーを使った落葉の集じん

効率化・軽減化に図りました。年6回の町内清掃は会員同士がふれ合える貴重な時間。来年度も継続して取り組みます。



柳田街区公園の清掃の様子

才八橋架け替え工事中

2020年10月



学校適正配置の取り組みについて

秋田市教育委員会 学校適正配置推進室

(児童生徒数の減少と学校適正配置)

近年、全国的に少子高齢化が進んでいる中、秋田市の児童生徒数は1980年代のピーク時に比べ、半分程度と大幅に減少しています。今後も児童生徒数が減少することが予想されていますが、子どもたちが様々な人の出会いを通して「自立と共生の力」をはぐくむことができる良好な教育環境を確保するために、秋田市では、学校適正配置の取り組みを進めています。平成31年3月に策定した「秋田市小・中学校適正配置基本方針」に基づき、将来の望ましい学校のあり方について、地域や保護者の皆様と協議を行っています。

(地域や保護者の代表者の皆様との協議)

現在、東部地域には、小学校は、明徳小、旭川小、広面小、太平小、下北手小、東小、桜小学校の7校、中学校は、秋田東中、太平中、下北手中、城東中、桜中学校の5校があります。

基本方針では、東部地域ブロックの望ましい学校数の上限を小学校が5校、中学校が3校としております。

この基本方針に基づき、昨年度から、地域協議の第1段階である東部地域ブロック協議会を開催し、地域や保護者の代表者の皆様とともに、望ましい学校の組み合わせについて協議してまいりました。その結果、小学校については、広面小、太平小、下北手小の3校の組み合わせ（明徳小、旭川小、東小、桜小は現状のまま）、中学校については、太平中、下北手中、城東中の3校の組み合わせ（秋田東中、桜中は現状のまま）が決まり、協議は第2段階である学校統合検討委員会に進んでいます。

令和2年10月に、第1回広面小、太平小、下北手小学校統合検討委員会と、第1回太平中、下北手中、城東中学校統合検討委員会を開催しました。学校統合検討委員会では、統合の時期、統合後に使用する校舎等について検討し、最終的にこの3校での統合の可否を決定します。検討の結果、統合の合意が得られた場合には、協議は最後の第3段階である学校統合準備委員会に進み、閉・開校式典やスクールバスの運行計画、廃校舎の利活用など、統合に向けた具体的な準備作業を進めていきます。

(今後の進め方)

学校適正配置の取り組みを進める上で、各小・中学校が、地域コミュニティにおいて中心的な役割を有していることや、地域、保護者の学校に対する思いにも配慮しながら、秋田市の未来を担う子どもたちにとって良好な教育環境とは何か、という視点に立ち、地域や保護者の皆様とともに、東部地域の将来の望ましい学校のあり方について協議してまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



※これまでの地域協議の状況につきましては、「東部地域ブロック協議会だより」を作成し、各町内会で回覧していただいているほか、東部市民サービスセンターにも設置しております。

秋田市東部市民サービスセンター いーぱる

[施設利用の申込み]

TEL.853-1683 FAX.834-1863

[取扱業務の問い合わせ]

TEL.853-1039 FAX.834-1829

[URL]<http://www.city.akita.akita.jp/sc/es/>

[所在地] 〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町13番地3

